

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



全校集会では、子どもたちに「ロクセ」の話をしました。「だいじょうぶ」という“魔法の言葉”を心の中で繰り返して「ロクセ」にしていると、何かが変わるような気がします。人生なんて思い通りにいかないことばかり。そんなときでも「すべては、うまくいっている。すべても、うまくいっている。だいじょうぶ、だいじょうぶ。」と言っていると、笑顔になれるような気がするのですが。



「インフルエンザ」流行への対応について ②

前回の学校だよりで伝えたように、インフルエンザの罹患者が広がらないように留意してきました。その結果、今週は広がりをおさえることができています。終息まであと一息です。

〈インフルエンザ罹患者の推移〉

日	6	7	8	9	10日	11日	12日
曜	金	土	日	月	火	水	木
罹患者	11	・	・	臨時休校	4	4	3

新たな罹患者1名

新たな罹患者3名 新たな罹患者なし 新たな罹患者なし

「学生ボランティア」の活用について

福島市は、福島大学と提携し、福島大学の学生を「学生ボランティア」として学校に受け入れています。

本校では、この「学生ボランティア」の制度を積極的に活用したいと考え、「どんどん受け入れますので、どんどん寄こしてください」と福島大学の担当者へお願いしています。

お陰様で、現在5名の「学生ボランティア」が配置になり、月曜日から金曜日まで毎日一人はいる状況をつくることができました。

「学生ボランティア」にお願いしている内容は、次のとおりです。

〈「学生ボランティア」の主なしごと〉 ※ 朝から子どもが帰るまで協力してくれています。

- その1 担当する学級の「授業補助」をする。(2学級を担当し、1週交替で授業の補助に入る。)
- その2 「自主学习ノート」等の点検をする。(基本は、ハンコを押したりサインをしたりする。)
- その3 「給食」時の補助をする。(準備や片付けを手伝う。)
- その4 「いまこころ学習室」での指導をする。(基本的には、子どもに聞かれたら教える。)

なお、別な依頼で、「理科」の授業補助にも、学生一人が週に1回来校します。「理科授業」の準備や片づけ、環境整備などを手伝ってくれます。



現在、「図書ボランティア」として保護者の方にお出でいただいておりますが、このほかにも何らかの形で学校に関わってもよい方がいましたら、校長までその旨を伝えてください。一人ではいやでしょうから、お誘い合わせの上で……。いかがですか？

〈保護者や地域の方をお願いしたいボランティアの例〉

- 花壇整備ボランティア
- 清掃ボランティア
- 校舎内美化ボランティア
- 校舎内巡視ボランティア
- 給食配膳支援ボランティア
- 陸上練習支援ボランティア
- 得意な分野の講師ボランティア (例えば、囲碁、将棋、プログラミング、空手、ダンスなど何でも)